

## 欧州株ツイン $\alpha$ (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

第60期末 (償還日 2019年4月22日)	
償還価額	3,004円96銭
純資産総額	1,194百万円
第55期～第60期	
騰落率	+5.3%
分配金合計	350円

\*騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- ◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。
- ◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

第55期 2018年11月22日決算 第56期 2018年12月25日決算  
 第57期 2019年1月22日決算 第58期 2019年2月22日決算  
 第59期 2019年3月22日決算 第60期 2019年4月22日償還  
 作成対象期間 (2018年10月23日～2019年4月22日)

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「欧州株ツイン $\alpha$  (毎月分配型)」は、信託約款の規定に基づき、2019年4月22日をもちまして信託を終了し、満期償還いたしました。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、「ユーロ圏の株式へ実質的に投資するとともに、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、インカムゲインと高水準のオプションプレミアムの確保、ならびに信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

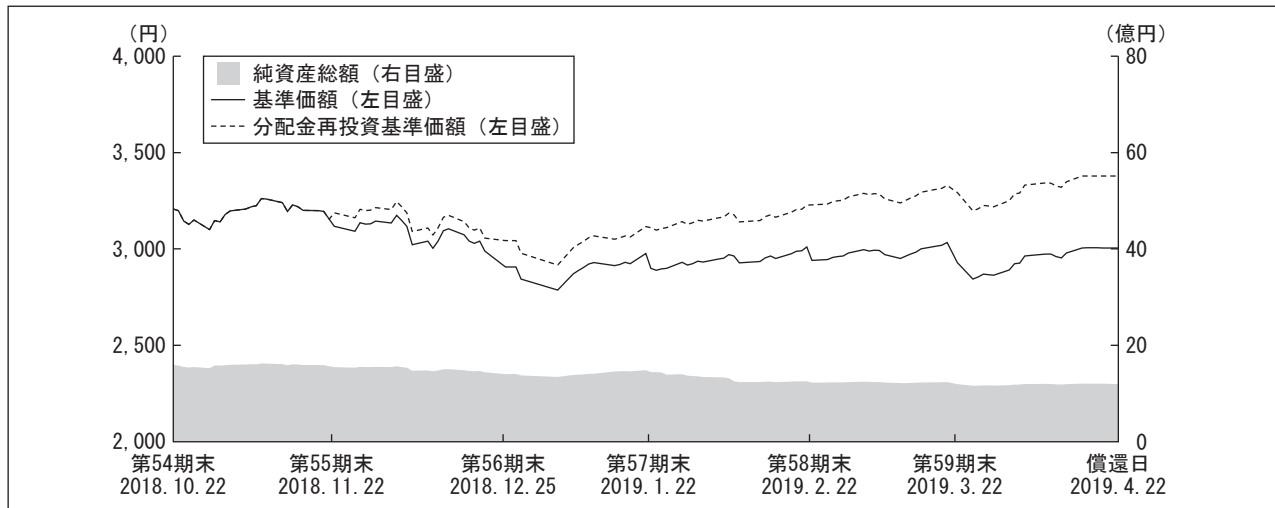


三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
 〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\* 当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\* 分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第55期首：3,208円

償還日：3,004円96銭（作成対象期間における期中分配金合計額 350円）

騰落率：+5.3%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Euro Stock Premium Fundへの投資を通じて、ユーロ圏の株式へ実質的に投資するとともに、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせ運用を行いました。

（上昇要因）

欧州株式の上昇、保有していた欧州株式からの配当収入、通貨カバードコール戦略が要因となりました。

（下落要因）

為替相場が円高・ユーロ安で推移したこと、株式カバードコール戦略などが要因となりました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	第55期～第60期		項目の概要
	2018年10月23日～2019年4月22日		
	金額	比率	
信託報酬	22円	0.740%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は2,982円です。
（投信会社）	(10)	(0.323)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(12)	(0.404)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(0)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.000	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	22	0.741	

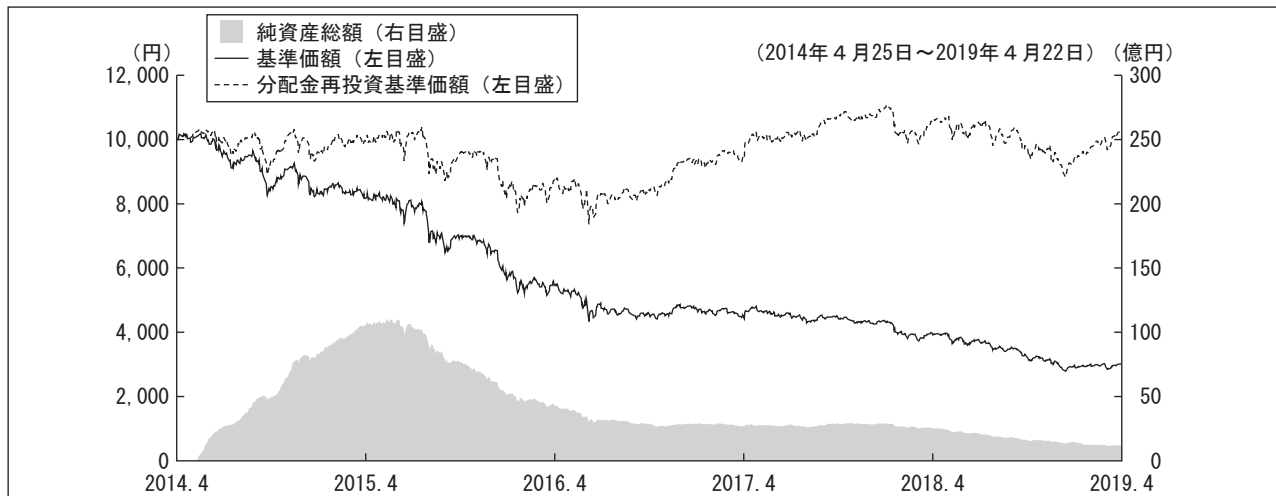
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

**【最近5年間の基準価額等の推移】**


\*当ファンドの設定日（2014年4月25日）より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年4月25日 設定日	2014年10月22日 決算日	2015年10月22日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月22日 決算日	2019年4月22日 償還日
基準価額 (円)	10,000	8,398	6,917	4,490	4,413	3,208	3,004.96
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	876	1,800	1,650	1,200	840	350
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.9	3.2	△ 11.6	27.8	△ 9.5	5.3
純資産総額 (百万円)	13	4,877	7,635	2,824	2,873	1,597	1,194

## 【投資環境】

当作成期の欧州株式市場は上昇しました。

当作成期は米国長期金利の急上昇、米国および世界経済に対する先行き不透明感の高まりなどを背景に2018年10月と12月に米国株式市場が急落し世界的に株安が連鎖する中、欧州株式市場においても、作成期初から2018年末にかけて株価が下落基調で推移しました。2019年予算案をめぐるイタリア政府と欧州委員会の対立などの政治リスクも投資家心理を冷やし、株価を押し下げる要因となりました。2019年1月以降は、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱に対する懸念、欧州製造業関連の指数の悪化を受け欧州経済の減速懸念が高まり、投資家心理が悪化する場面もありましたが、ECB（欧州中央銀行）が政策金利の引き上げに慎重な姿勢を示したことや、良好な米雇用統計を受け米国経済の強さが再確認されたことなどが好感され、米国株式市場の持ち直しとともに欧州株式市場も作成期末にかけて上昇基調で推移しました。

当作成期、ユーロは円に対して下落しました。作成期初は、進展見通しが不透明な英国のEU離脱交渉、イタリアの予算案に関する懸念、さらに予想を下回るユーロ圏の経済成長を受け、ユーロは対円で下落しました。その後、グローバル株式の上昇を背景としたリスクオン相場が支援材料となり、ユーロ高・円安に推移する場面もありましたが、12月に入ると一転、難航する英国のEU離脱交渉を受けた合意なきEU離脱への懸念、フランスで勢いを増す「黄色いベスト運動」に弱腰のマクロン大統領を背景とするフランスの財政赤字拡大懸念などさまざまな不確実性もあり、ユーロが売られました。一方で、FOMC（米連邦公開市場委員会）利上げ回数の減少見通し、中国とユーロ圏の景気指標悪化を受けた「2019年の世界的な景気減速」への懸念、米中通商摩擦の不透明性など、金融市場ではベア・センチメントが蔓延したことで、安全資産とみなされる円に資金が流入しました。その後は、ベア・センチメントの衣服に加え、米雇用統計の結果が予想を上回ったことでグローバルな景気減速懸念が緩和、英国のメイ首相がEU離脱期限の延長を検討しているとの報道が市場で好感され、ユーロが対円で買われました。3月に入ると、欧米で発表された製造業関連の経済指標が市場で嫌気されユーロは対円で下落しましたが、中国輸出が通商摩擦激化の中でも市場予想を上回る伸びとなりリスクセンチメントが改善、ユーロ高・円安基調で推移し償還日を迎えました。

国内短期金融市場では、作成期初-0.30%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、海外投資家による短期の国債への需要の剥落を受けてマイナス幅を縮小し-0.15%近辺で償還日を迎えました。

## 【ポートフォリオ】

### ■欧州株ツインα（毎月分配型）

主要投資対象であるEuro Stock Premium Fundを作成期を通じて組み入れました。その後、2019年4月の償還に向けて売却し、2019年4月22日に満期償還いたしました。

### ■Euro Stock Premium Fund

当作成期のパフォーマンスはプラスとなりました。欧州株式の上昇や、欧州株式の配当収入、通貨カバードコール戦略がプラスとなった一方、円高・ユーロ安、株式カバードコール戦略などがマイナスとなりました。

### ■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第55期～第59期の各期において70円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、第60期につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

## ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2018年10月23日 ～2018年11月22日	2018年11月23日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月22日	2019年1月23日 ～2019年2月22日	2019年2月23日 ～2019年3月22日
当期分配金 (円)	70	70	70	70	70
（対基準価額比率） (%)	2.20	2.35	2.36	2.32	2.33
当期の収益 (円)	68	69	70	70	70
当期の収益以外 (円)	1	1	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	832	831	831	833	833

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

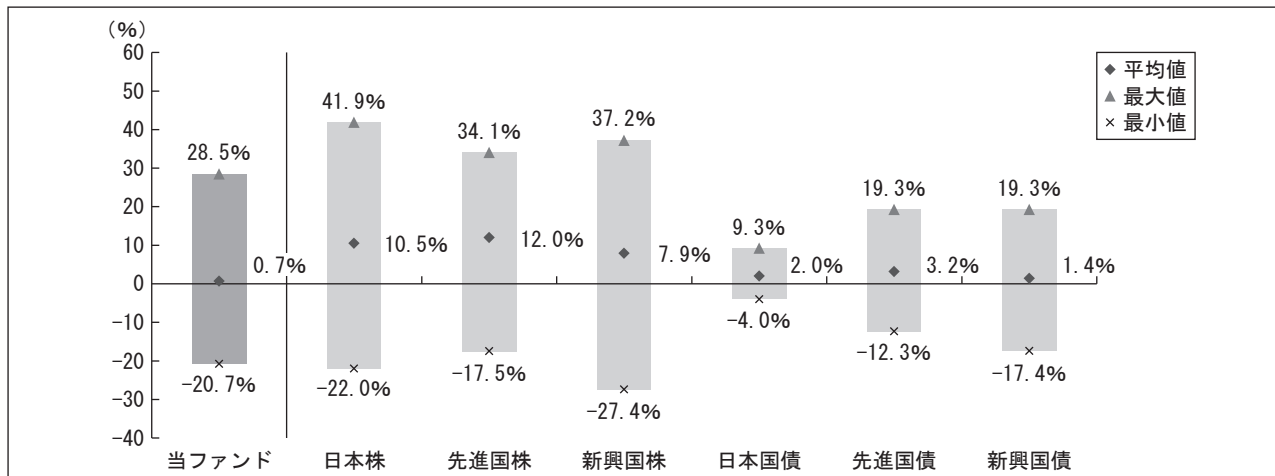
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年4月25日～2019年4月22日（約5年）	
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、ユーロ圏の株式へ実質的に投資するとともに、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、インカムゲインと高水準のオプションプレミアム確保、ならびに信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Euro Stock Premium Fund受益証券</li> <li>・マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券</li> </ul>
	Euro Stock Premium Fund	担保付スワップ取引を通じた、ユーロ圏の株式、ユーロ株式市場の株価指数（またはETF）にかかるオプション取引、通貨オプション取引
	マネー・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。</li> <li>・Euro Stock Premium Fundへの投資比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎月22日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2015年4月～2019年3月  
 代表的な資産クラス：2014年4月～2019年3月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。



## 当該投資信託のデータ

### ≪当該投資信託の組入資産の内容≫

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

### 【純資産等】

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	償還時
	2018年11月22日	2018年12月25日	2019年1月22日	2019年2月22日	2019年3月22日	2019年4月22日
純資産総額	1,547,081,360円	1,401,264,256円	1,444,125,036円	1,225,671,437円	1,194,189,563円	1,194,009,014円
受益権総口数	4,961,872,206口	4,822,367,811口	4,979,752,135口	4,168,156,599口	4,076,770,384口	3,973,462,346口
1万口当り基準価額（償還価額）	3,118円	2,906円	2,900円	2,941円	2,929円	3,004円96銭

\* 当作成期間中における追加設定元本額は421,817,303円、同解約元本額は1,427,510,546円です。



三井住友DSアセットマネジメント